

2020（令和2年） 2月 幾代会 実施記録

清瀬中里緑地公園及び柳瀬川せせらぎ公園

- 1 実施日時 2月9日（日） 晴天 寒気団通過 寒い1日
- 2 参加者 9名 越前 木村 羽深 太田 岡 宇津木 須崎 石川 中部
- 3 下見 日時を変えて 越前（31日） 中部（3日）
- 4 最終ルート 新秋津駅→秋津駅→空堀川（梅坂橋）→空堀川右岸→清瀬中里緑地保全地域→石田橋
→せせらぎ公園（ここから回廊）清瀬せせらぎ公園通り（トイレ）→清瀬橋（合流点）→
中里地域市民センター（トイレ）→松柳橋（柳瀬川左岸へ）→東所沢市内徳樹庵で昼食→
清瀬金山緑地公園→金山調整池→東所沢駅（終了）
- 5 ルート上の主なもの
 - 空堀川 現在 直線化工事中 水流あり 右岸を下流に歩く。
 - 清瀬中里緑地保存地内 イヌシデ コナラ クヌギなどの武蔵野台地の保存地域 カタクリなどが林内に見られるという。この日はまだであった。ウグイスカグラが1咲いていた。
 - せせらぎ公園通り ポンプで上げた水辺 水生植物などが植生されたものだろう保全地とホタル保護生息地となっている。お休みどころでは写真展示でワダソウ（ナデシコ科）が見られるという。更に 清瀬花100選によれば 青梅付近ではあまり見られないキンランギンランなどもあるようだ。（かつては青梅の山中にもあった。）
 - 柳瀬川 水量は豊かである。また清流復活でカワセミなどが見られた。カワセミの垂直に飛び込む姿が見事。カーブは大きな岩石で護岸されており、素晴らしい。
 - 清瀬金山緑地内 柳瀬川左岸沿いの土手に センダンの木を植えてあった。センダンの木の並木を作りたいとのこと この公園は清瀬市区内である。清瀬の名木としてヒトツバタゴ

がひととき大きな存在となっていた。また、三春の有名な滝桜の子孫が3本ほど植栽されていた。この公園は柳瀬川が運んだ河畔林ではなくすべてが植栽された樹木で形成されている。

- 金山調整池 柳瀬川左岸の調整池である。土手は今工事中である。この調整池は柳瀬川の調整池となっている。この水辺空間は相当量の湧水があり流水に手を入れると15度前後と思われる水温である。この池にはウチワゼニ草とかアメリカミズユキノシタとかいう名前の外来種もあり、ちんぷんかんぷんの様相でした。食べられたのか、毒なのか？

金山地区の説明に 昼食後この地域のボランティア団体で清瀬の自然を守る会の顧問・富田公三さんに案内していただきこの公園内の植物を解説していただきました。深く感謝申し上げます。

- 柳瀬川 空堀川について別紙（ウイキペディア参照の解説を添付）

柳瀬川はトトロの里1号地に行く途中横切った。貯水池方面から来る道路を横切る手前

長さ4mほどの橋を渡った。流れはわずかであったが藪になっていた。

こちらの保全地域は武蔵野の昔の面影とって良い自然林と調整池をうまく利用し植栽による

公園として成り立っている。これから一段と必要になる調整池を考えながら外来種を残し、虫や

鳥の飛来を呼び込んでおり、自然の多様さ豊かさを保全する努力が行われている。

報告 中部喜和